第３６回全国スポーツ祭典
第６２回全国卓球選手権大会一般の部　大会要項

（別添第 62 回全国卓球選手権大会規定必読）

1. 主　　催　一般社団法人　新日本スポーツ連盟全国卓球協議会
2. 主　　管　　新日本スポーツ連盟あおもり卓球協議会
3. 後　　援　スポーツ庁・青森県・青森市・テレビ愛知
4. 大会期日　２０２６年１１月１３日（金）１４日（土）１５日（日）３日間開催
5. 開催会場　カクヒログループスーパーアリーナ　（青森市総合体育館）
   〒030-0842 青森県青森市大字浦町字橋本 335-17
   TEL　017-762-7105　FAX　017-762-7106

6. 競技日程　２０２６年１１月１３日(金)
   個人戦予選リーグから決勝トーナメント終了まで(男子/女子 一般)
   ＊８時１５分　開館･受付　　＊９時開会式
   ＊９時３０分　競技開始　　＊１９時３０分競技終了予定
   ２０２６年１１月１４日(土) 団体戦予選リーグ(男子/女子 一般)
   ＊８時３０分開館･受付　＊９時１５分開会式（注意事項の説明のみ）
   ＊９時３０分競技開始　　＊１９時３０分競技終了予定
   ２０２６年１１月１５日(日) 団体戦決勝トーナメント(男子/女子 一般)
   ＊８時３０分　開館･入場
   ＊９時００分　オーダー提出
   ＊９時１５分　開会式（注意事項の説明のみ）
   ＊９時３０分競技開始　　＊１９時競技終了予定

7. 実施種目　【団体戦】

男子･女子 一般団体戦（1 ダブルス３シングルス＋ビクトリーマッチ） メンバー登録は４～６名とし、試合は４～６名で行う。

【個人戦】

男子･女子一般：年齢制限なし

8.競技規則　１）現行の日本卓球ルールに準ずる（但しタイムアウト制は採用しない）
２）予選リーグの順位決定はすべての対戦の勝敗、マッチ得失率(団体戦のみ)ゲーム得失率、ポイント得失率の順で決定する。決定できない場合は抽選で決定する。

9. 競技方法　１）ダブルスは１１ポイント３ゲームズマッチ２ゲーム先取とし、シングルスは１１ポイント５ゲームズマッチ３ゲーム先取制で行う。
２）団体戦は１ダブルス３シングルスの４マッチとし、３マッチ先取を勝ちとする。２対２の同点になった場合は最大６名の登録選手の中から代表を選びビクトリーマッチを１ゲームマッチで行い勝敗を決する。ビクトリーマッチのオーダーはチームの対戦成績が２－１になった時点で速やかに提出する。ビクトリーマッチは登録選手６名の中から誰が出場してもよいが４番のシングルスに出場した選手は出場できない。ダブルスに出場した選手は２番、３番のシングルスに出場できない、同じ選手がシングルスに２度出場することはできないがビクトリーマッチには出場できる。
３）団体戦、個人戦とも、ジュース：１０－１０になったときから双方が１本ずつサービスを行い、２点差をつけるか先に１３ポイントを得た選手がそのゲームの勝者となる。
４）団体戦、個人戦とも予選リーグ後１位による決勝トーナメントを行う。
５）団体戦については相互審判とする。個人戦について予選リーグ内は選手間の相互審判、決勝トーナメントの第一試合はタイムテーブルで塗りつぶしがしてある勝ち上がりの選手が審判、それ以後は敗者審判とする。
６）受付は試合開始３０分以上前に済ませ会場で待機すること。

10.出 場 資 格　　１）新日本スポーツ連盟全国卓球協議会及び都道府県卓球協議会が推薦するチーム及び選手。
２）２０２５年度第６１回全国卓球選手権大会
（埼玉県・所沢市　所沢市民体育館）において
一般団体戦で男女ともベスト４のチーム、個人戦男女ベスト８以上の選手は本大会に推薦される。
３）各都道府県予選通過者。
４）団体戦については相互審判とすること、個人戦について予選リーグ内は選手間の相互審判、決勝トーナメントの第一試合はタイムテーブルで塗りつぶしがしてある勝ち上がりの選手が審判、それ以後は敗者審判とすることを
了承したチーム及び選手。
５）一般と年代別の両方の大会に出場することは妨げない。

11.試　合　球　　ニッタク（Nittaku）プラ3スター プレミアム とする。

12.表　　彰　　１）団体戦は３位までとする。（３位決定戦は行わない）
２）個人戦はベスト８とする。

13.参　加　費　　１）団体戦１チーム　加盟 16,000 円・非加盟及び加盟非加盟混成 24,000 円
２）個人戦１人　　加盟 4,000 円・非加盟 6,000 円
＊参加費にはスポーツ傷害保険料を含む。

14.申 込 方 法　　１）チーム・選手へ
卓球協議会のある都道府県からエントリーするチーム・選手は、所定の申込書に必要事項をすべて正確に記入の上、その協議会の締切日までに申し込むこと。

申込書・参加費の送付先例各地域協議会で入力してください
宛　先　　〒

第６２回全国卓球選手権大会（一般の部）宛
添付資料　　全国大会規定
振込先　　口座番号
口座名義
（通信欄に都道府県名、チーム名、大会名、を忘れずに記入のこと）
締切日

15.問 合 せ 先　　新日本スポーツ連盟全国卓球協議会　https://www.stta.jp
TEL :03-5834-8734　FAX :03-5834-8723　E-mail：zenkoku@stta.jp

16.組　合　せ　　過去の大会実績をふまえ、主催者側で決定する。

17.諸　注　意　　１）団体戦の男女混成チームは認めない。
２）団体のメンバーの変更は、締切日以降、特別な事情がない限り認めない。メンバーは４名から最大６名まで登録できる。予選通過し申し込みの段階で２名は追加登録できるが、それ以後は追加できない。メンバーの変更は、締切日以降、特別な事情がない限り認めない。
３）ゼッケンは縦１８cm･横２５cm程度の大きさで、氏名、エントリーと同一のチーム名を記入し、各自で用意する。なお、団体戦と個人戦に出場し、エントリークラブ名が異なる場合は、それぞれのゼッケンを用意する。ゼッケンは、大会本部で販売するが試合に入る前に準備すること。
団体戦のユニフォームはできる限り揃える。対戦同士が同じユニフォームになっても着替えの必要はない。
４）締切日以降のキャンセルの場合、参加費は返却しない。
５）主催者都合以外の大会中止の場合、参加費は返却しない。
６）「第６２回全国卓球選手権大会規定」をよく読んでおく。
７）決勝トーナメントで棄権することのないよう時間に余裕を持った
計画を立てること。
８）不明点は加盟登録協議会または全国卓球協議会に問い合わせること。

第62回全国卓球選手権大会

一般団体戦申込書（年齢制限なし）

男子　　女子　（〇で囲む）

2026年11月14日(土)～15(日)青森県青森市
カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）

都道府県名		フリガナ	
		チーム名	
フリガナ		携帯	
代表者名		TEL	
		FAX	
代表者住所	〒		

団体戦登録メンバー

監督名		特記事項（履歴等）	

（1ダブルス、3シングルス・1チーム4～6名）特別な事情がない限り締切日以降の変更、追加はできません
（生年月日は西暦で、年齢は2027年4月1日における満年齢、カットマンは氏名の前に〇を記入してください。）

	団体戦メンバーの情報							個人戦の戦績		
①	フリガナ			加・非	年齢　　才	在住学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット			年　月　日生		出　否	年開催	大会	位
								段位		段
②	フリガナ			加・非	年齢　　才	在住学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット			年　月　日生		出　否	年開催	大会	位
								段位		段
③	フリガナ			加・非	年齢　　才	在住学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット			年　月　日生		出　否	年開催	大会	位
								段位		段
④	フリガナ			加・非	年齢　　才	在住学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット			年　月　日生		出　否	年開催	大会	位
								段位		段
⑤	フリガナ			加・非	年齢　　才	在住学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット			年　月　日生		出　否	年開催	大会	位
								段位		段
⑥	フリガナ			加・非	年齢　　才	在住学勤県	個人戦出場	年開催	大会	位
	氏名	カット			年　月　日生		出　否	年開催	大会	位
								段位		段

※　裏面（次ページ）も記入ください

団体の実績

推薦地域（ブロック名や都道府県名を記入する）			
都道府県予選の実績		県予選大会	位
3年以内のスポーツ連盟の全国大会実績等	年開催	大会	位
	年開催	大会	位
その他の全国レベルの大会の実績 全日本、マスターズ、社会人等	年開催	大会	位
	年開催	大会	位
その他の実績	年開催	大会	位
	年開催	大会	位
	年開催	大会	位
	年開催	大会	位

注意

①本種目は1.男子団体、2.女子団体の2クラスです。

②新日本スポーツ連盟の都道府県卓球協議会のある地域の方はその指定された申し込み方法で手続きする。
そのほかの方は、予選主管の卓球協議会へ申し込む。

③在住学勤県の欄には在住、在学、在勤の県を書く。

④加非の欄は加盟（加）か非加盟（非）に〇印をつける。加盟者は下段に登録都道府県名を記入してする。

⑥段位を持っている選手は記入のこと

参加費	加盟：16,000円 非加盟及び加盟非加盟混成：24,000円	金額	円

受付都道府県チェック欄	
No.	
金額	
受付日	
支払方法	現金　・　振替
受付者	

全国チェック欄	
No.	
金額	
受付日	
支払方法	現金　・　振替
受付者	

第62回全国卓球選手権大会

一般個人戦申込書（年齢制限なし）

2026年11月13日（金） 青森県青森市
カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）

都道府県名		男子　女子　（◯で囲む）

カットマンは氏名の前に〇印を付けてください

フリガナ	カット		フリガナ	
選手氏名			所属名	

加盟の場合　登録都道府県		非加盟の場合 在住、在学、在勤都道府県	
参加費	加盟：4,000円　非加盟：6,000円	金額	円

生年月日（西暦） 年齢は2027年4月1日現在の満年齢	年　月　日生まれ	年齢 才

携帯：	TEL：	FAX：
住所	〒	

都道府県予選の実績	都道府県予選大会	位
3年以内のスポーツ連盟の全国大会実績	年　大会	位
その他の全国レベルの大会の実績 全日本、マスターズ、社会人等	年　大会	位
	年　大会	位
	年　大会	位
	段位（持っている選手）	段

注意事項

①申込書1枚につき、1名のみ記入。

②選手氏名、所属名には必ずフリガナを記入。

③戦績の欄は必ず記入する。特に初出場の方は「その他の全国大会」の実績を必ず記入する。

④スポーツ連盟の都道府県卓球協議会のある地域の方は、その指定された申込み方法で手続する。
その他の方は、予選開催主管県卓球協議会へ申込む。

⑤段位を持っている選手は段位を記入のこと

受付都道府県チェック欄	
No.	
金額	
受付日	
支払方法	現金　・　振替
受付者	

全国チェック欄	
No.	
金額	
受付日	
支払方法	現金　・　振替
受付者	

備考欄

第36回全国スポーツ祭典第62回全国卓球選手権大会規定

一般社団法人　新日本スポーツ連盟全国卓球協議会

「スポーツきみが主人公」の合言葉に、「フェアプレーの精神」でルールを遵守する中で競技力と人格を高め、全国の卓球愛好者の目標となる大会のさらなる発展のために以下定める。

A.全国大会の出場資格について

1.前年大会の成績による推薦出場（推薦チームは前年大会の登録選手を半数以上登録すること）

1）一般団体　　ベスト4
2）年代別団体　　ベスト4
3）一般個人　　ベスト8
4）年代別個人　　ベスト4

2.各都道府県予選会通過チーム及び個人

3.各地域協議会が推薦したチーム及び個人

4. 団体戦については相互審判とすること、個人戦について予選リーグ内は選手間の相互審判、決勝トーナメントの第一試合はタイムテーブルで塗りつぶしがしてある勝ち上がりの選手が、それ以後は敗者審判とすることを了承したチーム及び選手。

5. シード権を得たチームは都道府県名表示ではなく全国推薦と表記する。

B.大会形式について(予選会・本大会共通事項)

1.一般・年代別団体戦、一般・年代別個人戦共通事項

1）1ゲーム11本の5ゲームズマッチ（一般の部、年代別の部ともにダブルスは3ゲームズマッチ）の予選リーグ後、1位通過チーム及び選手による決勝トーナメント戦とする。

2)ジュース:10－10になったときから双方が1本ずつサービスを行い、2点差をつけるか先に13ポイントを得た選手がそのゲームの勝者となる。

3)条件を満たせば一般大会と年代別大会の両方に参加できる。

2. 団体戦

1）一般の部

1ダブルス3シングルとする。（1番ダブルス2番シングルス3番シングルス4番シングルス）
2対2となった場合は最大6人の登録選手の中から代表選手を選びビクトリーマッチを 1 ゲームマッチで行い勝敗を決する。1 番のダブルスに出場した選手は2番3番のシングルスに出場できない、シングルスに2度出場することはできない。4番のシングルスに出場した選手はビクトリーマッチに出場することはできない。1番のダブルスは3ゲームスマッチとする。
ビクトリーマッチのオーダーはチームの対戦成績が2－1になった時点で速やかに提出する。

2)年代別の部

1ダブルス2シングルスとする(1番ダブルス2番シングルス3番シングルス)
1番のダブルスに出場した選手は2番のシングルスに出場できない。
1番のダブルスは3ゲームズマッチとする。

3. 個人戦

1)共通事項に準ずる。

C.予選会について

1. 共通事項

1)出場できる都道府県予選は各種目につき1ヶ所、1 回とする。

2. 卓球協議会のある都道府県で開催される場合

1) 団体戦

① 加盟登録チーム、加盟員は登録した都道府県の予選に出場することを原則とする。
② 加盟登録している選手はその都道府県協議会の予選会要項に従わなければならない。
③ 非加盟員のみのチームおよび、加盟員と非加盟員との混成チームは、当該都道府県に在住・在勤・在学の選手で半数以上のメンバーで構成され、その都道府県の予選に出場する。
他の県の選手とチームを編成することが出来る。その場合、卓球協議会のある都道府県の選手とも編成できるが、他の県の選手がチームの半数以下であること。また、メンバーが所属する各都道府県の予選会要項のルールに反しないことを条件とする。
特記　東京卓球協議会加盟員は他地域協議会の全国卓球選手権大会予選には一切出場できない。
④ 団体戦の年代別に出場の場合は、その該当する年代のクラスに出場する。ただし、年代が混合する場合は最年少者の年代のクラスに出場しなければならない。

2)個人戦

① 加盟登録者は登録した都道府県の予選に出場することを原則とする。
② 非加盟者は在住・在勤・在学の都道府県に出場する。

3. 卓球協議会のない都道府県で開催される予選の場合

1)団体戦

①予選会を行う当該県に在住・在勤・在学の選手を半数以上とする。
②本大会と大会形式が異なる場合、選考基準を明確にしておく。

2）個人戦
①本大会と大会形式が異なる場合、選考基準を明確にしておく。

4. 第 61 回全国卓球選手権大会の成績による推薦出場のチームのエントリー選手は各地域協議会第 62 回全国大会予選に参加することはできない。ただし一般の部の推薦選手が年齢条件を満たせば年代別に出場することはできる。また、年代別の推薦選手が条件を満たせば一般の部に出場することができる。

D.本大会について

1.団体戦

1）共通事項

予選会に出場した選手は、本大会出場の他チームの追加登録選手になることはできない。
ただし、同一クラブで複数チーム参加の場合は除く。推薦チームの選手が予選を通過した同クラブのチームの追加選手になることはできない。
申込締切日以後のメンバー変更は特別な事情のない限り認めない。
加盟登録している選手はその都道府県協議会の加盟員登録規定に従わなければならない。
また、疑問点がある場合は必ず加盟登録している都道府県協議会に問い合わせること。

2）審判について

団体戦については相互審判とする。個人戦について予選リーグ内は選手間の相互審判、
決勝トーナメントの第一試合はタイムテーブルで塗りつぶしがしてある勝ち上がりの選手が、それ以後は敗者審判とする。

3）オーダーミスについて

予選リーグの場合
オーダー交換後間違いに気が付いた場合該当する対戦を0－3の敗戦としポイントは各ゲーム0－11のポイントとする。（ビクトリーマッチは0－1の0－11）

決勝トーナメントの場合
本部がオーダーミスに気が付いたときは訂正し提出しなおすことができる。試合開始後に気が付いた場合は該当対戦のみゲーム数0－3の敗戦としポイントは各ゲーム0－11のポイントとする。
（ビクトリーマッチは0－1の0－11）
対戦が終了し確認のサインがされた時点で対戦成績は確定する。

4）一般の部

予選会に出場した選手を半数以上必ず登録すること。
登録選手は6名までとする。ただし、他の都道府県の予選に出場した選手を追加することはできない。

5）年代別

予選会に出場した選手を半数以上必ず登録すること。
登録選手は5名までとする。また、他の都道府県の予選に出場した選手を追加することはできない。

2.個人戦

卓球協議会のある県から参加する選手は、その地域で開催された予選会を通過すること。卓球協議会のない県から参加する選手は、その地域で開催された予選会を通過するか、予選会担当県の推薦を受けたその地域在住、在勤、在学の者でなければならない。

E.規定違反について

1.大会前に違反が判明した場合、チーム及び選手は本大会に出場できない
2.大会の予選リーグ中に判明の場合、予選リーグ中はオープン試合とし、決勝トーナメント中に判明した場合、その試合は中止する。大会終了後に判明した場合は、その成績を無効とする。
3.大会終了後も含めて規定違反が判明した場合、登録チーム全員および個人は次大会には出場できない。

F.ランキング及び次大会シード順について

1.ランキング及び次大会シード順は、当該大会役員で構成されたメンバーで決定する。
2.ランキングは全国大会での成績順とし、一般団体はベスト16・年代別団体はベスト8・
一般個人戦はベスト16・年代別個人戦はベスト8までとする。
3.上記2.を基本に次大会のシード順とする。第 1～4シードは同一都道府県の対戦を考慮しない。
第5～8シードは同一チームの対戦を配慮する。
第5～第 16 シードは同一都道府県の対戦を考慮する。不参加があった場合は、順位を繰り上げとする。
4.年代変更によるシード順は、それぞれの前回年代シードを上位とする。
（例：Aで優勝し次大会Bに出場の場合、ランキングは2位となる。）
5.過去の全国大会での成績は、前大会を考慮する。
6.全国卓球協議会の推薦チーム及び選手のシード順等は上記1.で決定する。

G.その他

1.決勝トーナメントで棄権することのないようにすること。
2.出場した選手は、エントリーしたチーム名の入ったゼッケンを着用すること。
3.団体戦のユニフォームは揃えることが望ましいが、それを参加資格の条件とはしない。
4.ユニフォーム等の基準は日本卓球協会のルールに準ずるがそのマーク入りを参加資格とはしない。